

事務事業名	茅野・産業振興プラザ運営支援事業	事業期間	～	年度	係内番号	06
担当部署	産業経済部	商工課	工業・産業振興係	連絡先	75-2030	

政策番号	04	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	中
			基本計画①	01	産業振興ビジョン	#N/A			
			基本計画②	01	産業振興ビジョン	#N/A			
			実行計画	04	工業振興ビジョン	0401	産学公等連携事業の推進		

予算事業名	産学公等連携推進事業費	会計コード	01	款	07	項	01	目	04	事業	01
-------	-------------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要  
(簡潔にわかりやすく)  
「茅野・産業振興プラザ」を産学公連携の拠点施設とし、高度な加工技術を保有する中小企業の工業振興を強力に推進する。企業ニーズや成長分野、新産業分野への参入等にも応じて従来事業を見直しつつ、組織体制を強化し、企業体質強化に向けた取り組み、企業間の情報交換推進、人材育成の積極的支援など、企業に寄り添ったきめ細かい事業展開を図る。

現状と背景  
(どうして)  
平成21年4月、産業、文化、教育、学術、まちづくり等の分野で相互に協力し、地域の活性化と人材育成に寄与することを目的に、「茅野市、茅野商工会議所及び諏訪東京理科大学との連携に関する協定書」が締結され、連携事業として、「地域産業の振興に関すること」及び「茅野・産業振興プラザの利用に関すること」が盛り込まれた。

目的  
対象 受益者 (誰のために)  
市内産業界  
対象 (直接働きかける)  
茅野・産業振興プラザ  
意図 (どんな状態にしたいか)  
恵まれた自然環境と調和しつつ持続可能な産業形成(創出)を目指した元気ある環境調和型産業都市・茅野の実現

手段・方法  
(どうやって)  
○販路開拓支援 受発注情報の紹介とフォロー、各種展示会出展支援、市内企業の情報収集・DB化、各企業情報発信(HP等)の支援、海外進出支援 ○産学公、支援機関等との連携 公立諏訪東京理科大学・信州大学・諏訪圏ものづくり推進機構、長野県等と市内企業との連携支援、市内企業の補助金獲得フォロー ○農商工等との産業間連携 産学育成による連携機会の創出、地域資源の活用による産学育成、関係機関・拠点(DMO、WLY)との連携 ○人材育成支援 職層別研修・専門知識研修の実施、QC検定試験の実施、資格取得サポート、若年層向けキャリア教育(サイエンスフェスタ、親子ものづくり教室)の開催

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	受発注情報の市内企業への紹介	受発注情報の紹介率	%	市内企業への紹介件数/受発注情報件数
	2	コーディネーター、アドバイザーによる企業訪問による情報収集	企業訪問数	社	訪問企業延べ数(5年累積値)	2,500
	3					
	変更履歴					
成果指標	変更履歴	成果・効果は何?	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	茅野市の製造品出荷額の増	製造品出荷額	億円	(参考 平成28年度 192,823百万円)
	2	茅野市の粗付加価値額の増	粗付加価値額	億円	(参考 平成28年度 75,439百万円)	800
	変更履歴					

実施状況	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
			事業費等(a)	円	17,748,647	15,632,000	
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	17,748,647	15,632,000			
活動指標	受発注情報の紹介率	目標	%	50	50	50	50
		実績	%	67			
		達成率	%	133.57	-	-	-
	企業訪問数	目標	社	500	500	500	500
		実績	社	440			
		達成率	%	88.00	-	-	-
-	目標	-					
	実績	-					
	達成率	%	-	-	-	-	
成果指標	製造品出荷額	目標	億円	2,000	2,000	2,000	2,000
		実績	億円				
	達成率	%	-	-	-	-	
	粗付加価値額	目標	億円	800	800	800	800
実績		億円					
達成率	%	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	茅野・産業振興プラザ運営支援事業	事業期間	～	年度	係内番号	06
担当部署	産業経済部	商工課	工業・産業振興係		連絡先	75-2030

事業 評価 価値	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果				
	コスト					
課長評価日						

事業 後 評価 価値 (CHECK)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	成果 要因分析	受発注情報紹介率は前年並だが、名古屋圏の担当者変更により案件数が前年の約6割となった。具体化検討企業は前年の約9割にとどまっており、紹介企業の精度向上、景況の落ち込みなどが要因と推定する。				
	総合評価	HP作成アプリの紹介、作成支援といった従前より一歩踏み込んだ企業支援。茅野IoT・AI研究会の立上げ、公立諏訪東京理科大学との連携によるセミナー等の実施。 ポリテクセンターを活用したセミナーの実施。				
	課題	企業訪問数の減少要因は、個別コーディネーターの訪問機会(目的)の減少(訪問企業数は減少していない)。 公立諏訪東京理科大学(担当コーディネーター等)との連携による企業とのマッチング推進				
	改革・改善の方向性(ACIT)	拡充 現状維持				
	改革・改善の方向性の内容	訪問していない(業界の)企業の掘り起し、訪問の実施。 公立諏訪東京理科大学の技術シーズ等の企業への紹介、大学コーディネーターとの情報交換による、大学と企業とのマッチングの推進。 既存コーディネーターの保有する知見等について、活用できる状態でのデータベース化等による支援体制の継続的強化。				
	作成担当者	久保山貴博				
	最終評価責任者	上田佳秋				
	最終評価年月日	令和元年5月31日				

事務事業名	産学公等連携推進事業	事業期間	～	年度	係内番号	05
担当部署	産業経済部	商工課	工業・産業振興係	連絡先	433	

政策番号	04	基本計画①	01	産業振興ビジョン	#N/A	中							
		基本計画②	01	産業振興ビジョン	#N/A								
		実行計画	04	工業振興ビジョン	0401		産学公等連携事業の推進						
		項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD		施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度					
予 算 事 業 名	産学公等連携推進事業費			会計コード	01	款	07	項	01	目	04	事業	01
事務事業の概要	諏訪圏内の産業、大学、商工会議所、自治体やその出先機関など、様々なセクターが連携し、圏内産業の活性化に向けた広域的・地域横断的な事業を行う。これにより、地域ブランドを確立し、企業体質強化や人材育成を進めるため、人的・金銭的支援を行う。												
現状と背景	産業界にとっては、ITをはじめIoTやAIの進展を背景としたグローバル化が進行し、変化に迅速に対応できる企業経営が求められている。大学等研究・教育機関においては、少子化に伴う経営基盤の弱体化が想定される中で、独自の技術や人材の輩出で生き残りをかける必要がある。行政の役割としては、社会的課題や地域課題を解決する糸口として産学公等の連携を進め、それぞれの技術や知見を社会貢献に活かすことで、存在意義を高めることができる。												
目的	受益者	産業界、研究・教育機関、地域住民											
	対象	圏域及び圏域交流企業、研究・教育機関											
	意図	圏域企業が持つ技術等で社会的課題や地域課題が解決され、地域経済の好循環が確立している。											
手段・方法	・ 諏訪圏ものづくり推進機構に対する資金支援及び事業への協力 ・ 諏訪圏6市町村SUWAブランド創造事業に対する資金支援及び事業への協力 ・ スワリカブランド創出事業に対する資金支援及び事業への参画												
評価指標の作成	活動指標	1	行政が活動することで作り出すもの	諏訪圏ものづくり推進機構の正規会員事業所数の増加	スワモ対前年度事業所数割合	%	当年度事業所数÷前年度事業所数×100	101					
		2	スワリカブランド創出事業への民間事業者の参画社数	スワリカ参画社数	社	研究会への参画社数（2022までの累計）	15						
		3											
	変更履歴												
	成果指標	1	成果・効果は何？	スワリカブランド創出事業を通じた新技術・新製品等の開発件数	スワリカ開発件数	件	事業期間（2018～2022）の累計件数	13					
		2											
		変更履歴											

実 施 状 況	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	事業費等(a)	円	65,583,987	82,067,000				
	財源内訳							
	国庫支出金	円	28,563,852	45,763,000				
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	37,020,135	36,304,000				
	活動指標	スワモ対前年度事業所数割合	目標	%	101	101		
			実績	%	106			
達成率		%	104.95	—	—	—		
スワリカ参画社数		目標	社	15	15			
		実績	社	14				
達成率		%	93.33	—	—	—		
成果指標	スワリカ開発件数	目標	件	13	13			
		実績	件	3				
	達成率	%	23.08	—	—	—		
	—	目標	—					
		実績	—					
	達成率	%	—	—	—	—		
備 考	スワモ会員事業所数：H29 263社、H30 279社							

事務事業名	産学公等連携推進事業	事業期間	~	年度	係内番号	05
担当部署	産業経済部	商工課	工業・産業振興係		連絡先	433

中 評 価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果 コスト				
課長評価日						

事 後 評 価  ( C H E C K )  改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 ( A C T )	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	～成果要因分析	【スワリカブランド創造事業】9つのテーマで試作検討を開始し、開発件数(特許出願件数)3件となった。実質事業期間4箇月であったにもかかわらず、単年度開発件数2件はクリアできた。優秀な技術者の招聘が功を奏している。				
	総合評価	【諏訪圏ものづくり推進機構】活動の充実から、正規会員数は着実に増えている。 【スワリカブランド創造事業】1年目の目標5社を大きく上回り、14社が参画したことで、多くの試作研究ができた。				
	課題	【スワリカブランド創造事業】3件の特許は、次年度以降の試作検討に反映させていく。				
改革・改善の方向性の内容	成果 コスト	拡充 現状維持				
策 び 容	【スワリカブランド創造事業】地域課題解決のための具体的な商品化は、参画企業の地域貢献にもつながり、今後も参画企業数が増加していくものと思われる。今後は、理科大への委託事業であることを踏まえ、理科大生の事業参画や技術・知見の理科大生への還元などを図ることで、より良い事業へと発展させる。 【SUWAブランド創造事業】2019年度で推進交付金が終了となり、一区切りとなる。2020年度以降も事業継続していくかなど、岡谷市を中心に6市町村での協議を進める。					
作成担当者	河西茂廣					
最終評価責任者	上田佳秋					
最終評価年月日	令和元年5月31日					